

重点課題

子どもたちの学ぶ力と意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む中で、「基礎的・基本的な知識・技能」を定着させ、その知識・技能を活用して課題解決するための必要な「思考力」「判断力」「表現力」を育成するとともに「主体的・対話的で深い学び」の実現に努める。

道徳教育の充実

規範意識の向上や公共心の育成を図るとともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を深める。また、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、いわゆる「考え、議論する道徳」の充実を図る。

特別支援教育の充実

全ての学校・園において、個別指導計画や個別教育支援計画の作成を促進するとともに、特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援体制を構築し、特別支援学校のセンター的機能を活用して特別支援学級の充実に取り組む。また、通級指導児童の増加に伴い、更なる通級指導の推進と充実を図る。

いじめや不登校など生徒指導上の諸課題への取組の徹底

未然防止の取組や早期発見・早期対応の体制整備等に努めるとともに、個々の児童生徒に合った支援計画を策定し、組織的・計画的な支援体制づくりを行う。いじめや児童虐待等が認められる場合は、学校は直ちに児童生徒の安全確保を行うとともに、関係機関と適切な連携を図りながら対応できるよう、校内体制を整備充実する。また、SCやSWの配置等も行い、学校における教育相談機能の充実に努める。

人権教育の推進

児童生徒が人権尊重のための知識や態度、技能を身に付けるため、また、人権一般の「普遍的な視点からのアプローチ」と具体的な人権課題に即した「個別的な視点からのアプローチ」の双方向からの学習が効果的に進むよう、人権教育の学習資料集等の活用促進に努めるとともに人権教育に関する教職員研修の充実にも努める。

キャリア教育・職業教育の充実

勤労観・職業観を発達段階に応じて、組織的・系統的に育成し、自らの在り方や生き方を設計できるような指導体制の構築を図るとともに、勤労の貴さとその意義に対する理解を深め、勤労観・職業観を育成するため、学校における職場体験活動やインターンシップ等の体験活動を推進する。

健やかな体の育成と生涯スポーツの推進

体力・運動能力・運動意欲向上の取組として幼児期における運動遊びの普及や体育授業の充実とともに小学校における業間運動等の充実、中学校における運動部活動の充実を図り、子どもたちが進んで運動に取り組む力を育成する。また、園児児童生徒の健康課題の解決を図るため、関係機関等との連携強化を促進して健康教育を充実する。

食育の推進

食に関する指導の全体計画や年間計画に基づき、学校教育活動全体を通して食育を推進する。また、栄養教諭等が中核となって教職員と連携し、学校給食を「生きた教材」として活用しながら食育を推進するとともに、食に関する指導を充実させるため、学校給食において地場産物の積極的な活用を図る。

教職員の指導力（授業力）及び資質・能力の向上

町内の幼稚園・こども園・小・中学校など異なる校種の教職員が共に参加する公開授業、授業研究等の研修と、異校種間の円滑な接続を図るための研修の充実及び児童生徒のICT活用を指導する能力の向上を図る。

防災教育・コミュニティ・スクールの推進

学校安全教室やより実践的な避難訓練等の実施を通して、児童生徒に危険予測・危険回避能力を身に付けさせるための「防災教育」の充実を図る。また「地域とともにある学校づくり」として、学校と地域が連携・協働して行うコミュニティ・スクールを推進する。

令和2年度

学校教育の指導方針

学校教育目標

広陵町の学校教育は、奈良県教育委員会の指導方針を踏まえ、日本国憲法、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人権を尊重する民主的な社会の形成者として、豊かな人間性と創造性をそなえた国民の育成を目指す。



教育スローガン

みなさんと共に「いい人」づくり

～わかる・できる楽しさを子どもたちに～

「Challenge」 「Creation」 「Bond」

指導方針の設定にあたって

広陵町立幼稚園・こども園・小学校・中学校においては、奈良県教育委員会から示された「学校教育の充実のために」及び「学校教育の指導方針」の内容を踏まえ十分な理解の上で、それぞれの園・学校の実態に即して具体的な教育目標を定め、日々の教育実践に努め、もって広陵町学校教育の一層の充実進展を図るとともに広陵町がSDGs未来都市に選定されたことを受け、学校教育が17の目標達成の一助となるよう様々な取組を期待するものである。

広陵町教育委員会

指導の重点(目標)

幼稚園等

魅力と活力ある園づくり

- ・園児が主体的に活動できる楽しい環境づくりに努める。
- ・園や地域の実態及び園児たちの特性等を踏まえ、園児たちが主体的・創造的に活動できるよう、特色あるカリキュラム

確かな学力の育成

- ・身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり考えたりして、自分の考えをよりよいものにしようとする課程を充実させ、小学校以降の生活や学習の基盤につながる思考力・判断力・表現力等の基礎を養う。

豊かな人間性の育成

- ・人々との関わりを深め、愛情や信頼感をもつとともに、身近な動植物に触れ、生命の不思議さや尊さに気づき、生命を大切にすることを育む。自分の力で行動する力の充実感

たくましい心身の育成

- ・充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

小学校

魅力と活力ある学校づくり

- ・互いのよさを認め、支えあまし合う学校・学年・学級づくりに努める。
- ・学校や地域の実態及び児童たちの特性等を踏まえ、児童たちが主体的・創造的に活動できるよう、特色あるカリキュラムを編成するとともに教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立を図る。

確かな学力の育成

- ・児童の発達段階に応じた指導の充実を図り、幼稚園等の教育内容や中学校での学習内容を踏まえ、各教科等の特質に応じた見方・考え方を生かし小学校以降の生活や学習の基盤につながる思考力、判断力、表現力等を育成する。なお、家庭学習の重要性に鑑み、東・北・真美ヶ丘第一小学校に「広陵放課後塾」を開設し、順次、他校にも拡充して学力の向上に努める。

豊かな人間性の育成

- ・自分や他者を理解し、生命を大切にする心や人権を尊重する心、自律心、責任感、正義感を育む。集団宿泊活動や自然体験活動などを通して、基本的な生活習慣や社会生活上のルールを身に付けさせる。

たくましい心身の育成

- ・運動との多様な関わりを通して、基本的な動きや技能を身に付け、自ら進んで運動を楽しもうとする態度やいろいろな運動ができる力の基礎を育てる。

指導の重点(目標)

中学校

魅力と活力ある学校づくり

- ・互いに支えあまし合い、活気と秩序のある学校・学年・学級づくりに努める。
- ・学校や地域の実態及び生徒たちの特性等を踏まえ、生徒たちが主体的・創造的に活動できるよう、特色あるカリキュラムを編成するとともに教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立を図る。

確かな学力の育成

- ・生徒の発達の段階に応じた指導の充実を図り、小学校や高等学校での学習内容を踏まえ、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせた学習過程を重視し、知識・技能を習得させるとともに、これらを活用した思考力、判断力、表現力を育成する。

豊かな人間性の育成

- ・自分や他者への理解を深め、生命を大切にする心や人権を尊重する態度、自律心、責任感、正義感を育む。職場体験活動やボランティア活動などを通して、社会生活上のルールやマナーを身に付けさせ、社会参画しようとする態度を養う。

たくましい心身の育成

- ・様々な運動の経験を通して、体力向上を図るとともに、積極的に運動に取り組む態度や生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。

特別支援学級

魅力と活力ある学校づくり

- ・子どもたちが主体的に活動できる明るく楽しい環境づくりに努めるとともに、交流学習を進める中で、楽しさが実感できる学級づくりに努める。

確かな学力の育成

- ・障がいの状態や特性及び発達の段階等に応じて、個別の指導計画に基づく適切な学習活動を展開し、思考力、判断力、表現力等を育成する。

豊かな人間性の育成

- ・様々な経験を通して、自ら他の人に関わろうとする姿勢を養うとともに、集団の中における自分の役割を理解し、行動する力を育む。

たくましい心身の育成

- ・障がいの状態や特性及び発達の段階等に応じて、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、自ら考えたり、工夫したりしながら運動に取り組み、体力の向上を図る。